



日田の今が見える、日田のこれからが見えてくる

# 市議会だより



消防団 出初式（三隈川）

## もくじ

● 第4回定例会で審議した議案とその結果  
…2～3ページ

● 市政に反映、皆さんの声  
（一般質問） …4～10ページ

● 各委員会の議案等の審査結果、常任委員会の  
行政視察報告 …11～13ページ

● 議会報告・意見交換会のアンケート結果  
…14～15ページ

● 提言書・公職選挙法に関するQ & A  
…16ページ



## 平成27年 第4回(12月)定例会 12/1~12/21 21日間

平成27年第4回定例会は、12月1日から会期21日間で開かれました。本定例会では、条例の一部改正、平成27年度一般会計補正予算など、35件の議案について審議を行い、下記のとおり決定しました。

### ■本定例会で審議した議案とその結果

| 議案番号    | 件 名                                                            | 議決結果       |
|---------|----------------------------------------------------------------|------------|
| 議案第103号 | 日田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について | 原案可決(多 数)  |
| 議案第104号 | 日田市職員の勤務時間及び休日休暇等に関する条例の一部改正について                               | 原案可決(全会一致) |
| 議案第105号 | 日田市特別職員退職手当支給条例の一部改正について                                       | 〃          |
| 議案第106号 | 日田市税条例の一部改正について                                                | 〃          |
| 議案第107号 | 日田市税特別措置条例の一部改正について                                            | 〃          |
| 議案第108号 | 日田市国民健康保険税条例及び日田市介護保険条例の一部改正について                               | 原案可決(多 数)  |
| 議案第109号 | 被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について          | 原案可決(全会一致) |
| 議案第110号 | 財産の譲渡について                                                      | 原案可決(多 数)  |
| 議案第111号 | 工事請負契約(日田市複合文化施設建築主体工事請負契約)の変更契約の締結について                        | 原案可決(全会一致) |
| 議案第112号 | 損害賠償の額の決定について                                                  | 〃          |
| 議案第113号 | 日田市定住自立圏形成方針の策定について                                            | 〃          |
| 議案第114号 | 日田市多目的交流館の指定管理者の指定について                                         | 〃          |
| 議案第115号 | 日田市立認定こども園の指定管理者の指定について                                        | 〃          |
| 議案第116号 | 日田市立小規模保育園の指定管理者の指定について                                        | 〃          |
| 議案第117号 | 日田市老人福祉施設の指定管理者の指定について                                         | 〃          |
| 議案第118号 | 日田市高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について                                    | 〃          |
| 議案第119号 | 日田市道の駅の指定管理者の指定について                                            | 〃          |
| 議案第120号 | 日田市木材加工施設の指定管理者の指定について                                         | 〃          |
| 議案第121号 | 日田市林業生産活動施設の指定管理者の指定について                                       | 〃          |
| 議案第122号 | 隈まちづくりセンターの指定管理者の指定について                                        | 〃          |
| 議案第123号 | 島内休憩所の指定管理者の指定について                                             | 〃          |
| 議案第124号 | 日田市公民館の指定管理者の指定について                                            | 〃          |
| 議案第125号 | 日田市農村環境改善センターの指定管理者の指定について                                     | 〃          |
| 議案第126号 | 林業センターの指定管理者の指定について                                            | 〃          |
| 議案第127号 | 日田市中津江ホールの指定管理者の指定について                                         | 〃          |
| 議案第128号 | 日田市大山文化センターの指定管理者の指定について                                       | 〃          |
| 議案第129号 | 平成27年度日田市一般会計補正予算(第5号)                                         | 原案可決(多 数)  |
| 議案第130号 | 平成27年度日田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)                                  | 原案可決(全会一致) |
| 議案第131号 | 平成27年度日田市介護保険特別会計補正予算(第2号)                                     | 〃          |
| 議案第132号 | 平成27年度日田市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)                                  | 〃          |
| 議案第133号 | 平成27年度日田市水道事業会計補正予算(第1号)                                       | 〃          |
| 議案第134号 | 日田市一般職員の給与に関する条例等の一部改正について                                     | 〃          |
| 認定第1号   | 平成26年度日田市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について                               | 認 定(多 数)   |



| 議案番号  | 件 名                           | 議決結果       |
|-------|-------------------------------|------------|
| 認定第2号 | 平成26年度日田市水道事業会計決算の認定について      | 認 定 (全会一致) |
| 請願第6号 | 「日田市の記録を後世に生かす公文書管理の構築」を求める請願 | 採 択 (全会一致) |

## 平成27年 第4回定例会 賛否の状況 (全会一致以外)

|    | 議案番号    | 議決結果 | ※ 賛否 |   | 会派名、議員名及び賛否の別 |      |      |      |      |      |      |       |      |      |      |      |       |      |     |       |       |       |      |      |      |     |
|----|---------|------|------|---|---------------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|-------|------|-----|-------|-------|-------|------|------|------|-----|
|    |         |      | 賛    | 反 | 市政クラブ         |      |      |      |      |      |      |       | 新世ひた |      |      |      | 市民クラブ |      |     | 日本共産党 |       | 公明党   |      |      |      |     |
|    |         |      |      |   | 嶋崎健二          | 坂本盛男 | 森山保人 | 財津幹雄 | 安達明成 | 佐藤里代 | 渡辺孝裕 | 高倉和一郎 | 梅原竜也 | 飯田茂男 | 石橋邦彦 | 居川太城 | 三苫誠   | 中野哲朗 | 高瀬剛 | 溝口千壽  | 古田京太郎 | 井上正一郎 | 大谷敏彰 | 日隈知重 | 松野勝美 | 坂本茂 |
| 議案 | 議案第103号 | 可 決  | 19   | 2 |               | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○     | ○     | ○     | ●    | ●    | ○    | ○   |
|    | 議案第108号 | 可 決  | 19   | 2 |               | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○     | ○     | ●     | ●    | ○    | ○    |     |
|    | 議案第110号 | 可 決  | 19   | 2 |               | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○     | ○     | ●     | ●    | ○    | ○    |     |
|    | 議案第129号 | 可 決  | 19   | 2 |               | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ○     | ○     | ●     | ●    | ○    | ○    |     |
| 認定 | 認定第1号   | 認 定  | 18   | 3 |               | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○   | ●     | ○     | ○     | ●    | ●    | ○    | ○   |

※賛否は原案に対するものとし、「○」は賛成、「●」は反対（不賛成）を表します。

議長（嶋崎健二）は、可否同数のとき又は特別多数議決のとき以外は表決に加わりません。

## 賛否の主な討論の内容

### ■議案第103号（反対討論あり）

国のマイナンバー制度の狙いは、国民の収入、財産の実態を政府がつかみ、税や保険料の徴収強化と、社会保障の給付削減を押し付けることにあり、個人情報の保護に100%の安全はないとのことから反対討論が行われたが、採決の結果、多数をもって原案が可決された。

### ■議案第108号（反対討論あり）

マイナンバー制度の施行に伴い、国民健康保険税及び介護保険料の減免申請書等の記載事項に個人番号が追加されたことにより、窓口では番号が必要な書類と必要でない書類の区別が明確でなければ混乱が予想される。窓口で通知カードや番号カードを不必要に持つて行くことになれば、紛失や盗難のリスクも高まる。意図的に情報を盗み、売る者が存在するというリスクと考え合わせれば、使用を中止すべきであるとのことから反対討論が行われたが、採決の結果、多数をもって原案が可決された。

### ■議案第110号（反対・賛成討論あり）

市の出資金である株式1億3,000万円を3,700万円でJ R九州に譲渡することになっているが、あまりに安い金額であり、これまで27億9,000万円を投資し、資産評価6億9,000万円の施設についても無償で譲渡することから、大きな損失であるとの反対討論が行われた。

続いて、経営改善の一環として、市が所有している有価証券の全部をJ R九州に譲渡することで、経営基盤の強化が図られることに市民は期待している。今後赤字を続けて行くことは、負の遺産として大きな問題となることは間違いないとの賛成討論が行われ、採決の結果、多数をもって原案が可決された。

### ■議案第129号（反対討論あり）

債務負担行為において、J R九州が今後の投資分を

含めて負担することになる固定資産税相当額について、平成29年から平成38年までの10年間分、あわせて1億8,450万円を市が交付することになっている。議案第110号での株式の低額譲渡を含めると、J R九州への過剰なサービスであるとの反対討論が行われたが、採決の結果、多数をもって原案が可決された。

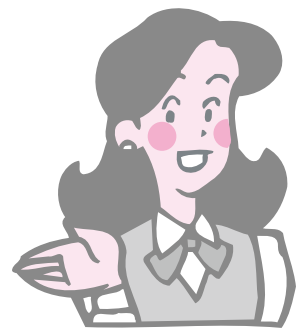
### ■認定第1号（反対討論あり）

①市街地中心部賑わい創出事業について、平成26年11月に突然新聞紙上で中止の報道がなされたこと②新規就農総合支援事業で、農業経営の開始から1年以内に青年就農給付金を受給できた新規就農者は1名と夫婦1組だけで、経営の不安定な就農初期の支援につながっていないこと③日田材需要拡大緊急対策事業は、経済波及効果が高いと評価されているにもかかわらず、前年実績から大幅に減額されたため、平成26年9月で事業が終了したこと④森林整備総合対策事業の除間伐搬出に対する市の補助率が引き下げられ、森林所有者の負担が増加したこと⑤国民健康保険特別会計は、決算では基金と決算剰余金で約1億3,400万円が残っており、結果的に税額の引き上げは必要なかったこと⑥小学校跡地活用対策事業のうち、旧夜明小学校の跡地活用については、地元からの強い要望を受けたとの理由で、平成26年9月の常任委員会での審議を尽くす以前に入札を執行したにもかかわらず、認定こども園の認可が現在でも得られていない状況であり、幼老共生事業の実施が頓挫していること⑦人権同和対策費のうち、地区集会所の人件費の決定については、特異な方法となっており、同和問題の解決は国民的課題と指摘される中で、特別扱いしている行政の在り方は問題であるとの反対討論が行われたが、採決の結果、多数をもって認定された。



## 一般質問

# 市政に反映 皆さんの声



平成27年第4回定例会では、12月8日、9日、10日の3日間にわたり、市政に関する一般質問が行われ、16人の議員が諸問題について質問しました。それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。



中野 哲朗

### 総人件費2割カットについて

**質問** 「総人件費2割カット」は二期目も取り組む施策の一つか。  
**市長** 数値目標等は設定していないが、引き続き、人件費の抑制に努めたい。

**質問** 一期四年間での総人件費の削減は、いくらであったか何う。  
**市長** 約5億4000万円で、率にして、7・9%であった。

**質問** 市長が削減実績として示した職員定数の適正化、業務内容見直し等の内訳を示してほしい。

**市長** 具体的には持ち合わせていない。  
**質問** 計画書のような具体的なものはあったのか何う。

**市長** 概ねの目算として、推計をもち合わせながら、実行できるものを探りながらやってきた。

**質問** 総人件費2割カットの基準が変わっているようだが、理由などは市民と議会に説明したのか。  
**市長** 公約を検証するに当たり、改めて人件費の実績を提示した。

**質問** 総人件費2割カットの具体的な工程表はなかったのか。

**市長** どれだけ減らすかの机上の計算としてはあるが、数字に異常にこだわり、市民サービスができないという本末転倒な政治はして

はならないと考える。

**質問** 削減状況を市長の給料に反映させる意味で、特別職報酬等審議会の開催が必要ではないか。

**市長** 年明けにでも開いて、次の定例会に提案できるようにしたい。

**質問** 市長の定例記者会見をホームページで公開する考えはないか。  
**市長** やろうと思えばできると思うが、時間に追われている。時間を作って提示できればと考える。



溝口 千寿

### 教育課題について

**質問** 高瀬小学校の管理棟は、建

築後かなりの年数が経っており、雨漏りなどが起きている。改修や建て替えの必要があると思われるがその考えはないのか何う。

**教育次長** 管理棟は建築後約40年経過して雨漏り以外にも外壁、内装、建具など校舎全体の老朽化が進んでいる。そのため校舎全体の大規模改修が必要と判断しており、来年度実施設計に取り組みたいと考えている。

**質問** 併せて教室棟の屋根に赤茶色のさびが見受けられ、劣化の状況が著しいと思われるが、改修等の考えはないのか何う。

**教育次長** 教室棟の屋根材は、カラー鉄板ぶきであるが、赤さびが全体に広がっている。雨漏りは確認されていないが、今年度実施した専門業者の点検で、早期に補修や改善等を要すと判定された。そのため、管理棟と一体的な改修の実施を考えている。

**質問** 国を挙げて公共施設のバリアフリー化が進められている。また、身体に障がいを持った児童も積極的に普通学校への通学を進められていく。これらの状況を考えると学校にもエレベーターを導入する必要があると考えるがどうか。





**教育次長** 障がいを抱える児童の

修学については、各人の状態に配慮した適切な教育環境が必要であり、このため段差の解消や教室の配置等を工夫すると同時にエレベーターも必要と考えるが、連合育友会などから要望の強い特別教室の空調やトイレの洋式化などを優先的に取り組み、その後検討する。



渡辺 孝裕

### 防災・減災力向上への取組

**質問** 減少する消防団員確保への取組について伺う。

**部長** 現在、ポスター、ホームページ、広報ひた等を活用した啓発や各種イベント時のPR等での確保に努めている。

**質問** 昼間の消防力低下を補うには、女性の存在が必要不可欠だと思うが、市としての考えを伺う。

**部長** 昼間の消防力低下はご指摘のとおりである。今後は、女性を含めた消防団員確保が大変重要であり、行政としても考えていく。

**質問** 消防団員の減少は、地域防災力の低下を意味するが、市職員

で消防団員になっている方々の処

遇は法律どおりになっているのか。  
**部長** 法律ということで、位置づけは明確にしている。事務に支障のない限り、出動を優先させていく。

**質問** 新規採用者の要綱に、消防団加入の義務付けはできないか。

**部長** 少し難しい点があるので、採用後に加入を強力に勧め、また職員にも指導していきたい。

**質問** 操法の訓練場所、消防団員のスキルアップについて伺う。

**部長** 消防団員の操法訓練、活動に対して大変苦勞を掛けている。訓練場所の重要性は認識しており、施設を提供するのは、市の重要な



地域防災力に欠かせない団員確保への取組は

役割だと考えている。

**質問** 消防団の担当部署はどこか。  
**市長** 私が消防団長の任命権者であり、消防団の事務局は、防災危機管理室である。

**質問** この他、災害発生時の避難警報の在り方、消防団等による避難誘導の必要性、避難訓練の現状について質問した。



松野 勝美

### 防災行政無線について

**質問** 防災行政無線が豪雨などで家の中では聞き取れないとの声が多くあるが、市民の安心・安全を守る防災行政無線の設置状況を伺う。

**部長** 平成24年度には九州北部豪雨の被災地域で、放送が聞こえにくかった清水町、吹上町、上手町、諸留町、高瀬本町、石井町3丁目、北友田2丁目の7地区へ、屋外拡声子局を増設している。

**質問** 防災行政無線が分かりづらい方に電話で聞く自動音声応答装置である、いわゆる電話応答サージスの導入を検討してはどうか。



**部長** 携帯電話等を扱えない方にとっては有効だと思う。調査、検討していきたい。

**質問** 日田市内の就業者数減に対する推移をどのように見込んでいるのか伺う。

**市長** 国勢調査によると、平成22年の本市の15歳以上の就業者数は3万3865人であり、前回調査時の平成17年と比較すると2963人減少している。

**質問** 国は働く意欲のある高齢者が、働き続けられるように労働時間の規制緩和をする方針のようだ。他市でもシルバー人材センターで働きたい方のために、労働時間の緩和をしている所もあると聞いた。日田市の考えを伺う。

**部長** 働く高齢者にとって良い労働環境は整備されていると考えているが、その点について現在、全国市長会を通じ、要望している状況である。

**質問** この他、健康増進、学校給食について質問した。



### 森林・木材産業の振興について



財津 幹雄

**質問** 木材の売り込み営業はどのようなにしているのか伺う。

**部長** 市内の製材品30万m<sup>3</sup>の約9割は県外に出荷されている。各製材所の営業努力と、ほとんどが加入している日田木材協同組合の営業者が、首都圏他、東北関西方面などに販路拡大を図っている。市はこの活動を支援している。

**質問** 海外への売り込みはどうか。  
**部長** 平成21年度に林業商工業者による関係団体で日田材海外出荷対策協議会を設立し、中国、韓国の住宅博覧会での内装材の展示やモデルハウスの乾燥材の提供、企業訪問等を行い、情報発信に努めているが、平成25年度までに口グハウス13棟分2300万円の実績しかなく低迷している。最近、若手製材業者を中心として、川上から川下までのメンバーによる日田木材産業研究会が発足し、総合的に研究を始めている。

**質問** 材価が採算以上になれば、

多くの問題は解決すると思うが、材価の回復が見込めないなら、更なるコスト削減と量の拡販が求められるがどうか。

**部長** 施業の効率化を図るために小規模林の集約化が、森林組合によって実施され、県下でもトップクラスにある。植える時期を選ばないコンテナ苗の導入や成長の優れた品種、樹種の選択により、コストダウンに努めている。

**質問** 日田もりビジョン推進委員会はどうかになっているのか。

**部長** 平成27年9月に立ち上げ、第1回の委員会を開催した。森林組合、木協、建築士会などで構成している。



三 苫 誠

### 学校等空き公共施設の民間利用対策について

**質問** 少子化、過疎化による人口

減少に伴う学校統廃合等により、空き公共施設が増えている。空き施設を未利用状態にしているも管理費用がかさむだけである。これらの施設を有効活用し、地域の活性化を図るため、利用条件や手続



き等利活用のルールづくりを行い、承認手続等の弾力化・明確化を図ることはできないか。

**市長** 市の財産は、時価での譲渡や市有財産台帳価格に基づく貸付けを原則としているが、地域振興の面から、市民の共通財産である空き公共施設の有効活用について、地域住民の理解を得ながら、条例化も含めて検討していく。

**質問** 周辺地域における中間支援組織設置の進捗状況と組織の形態について伺う。

**部長** 平成29年度中の設立に向けて先進地等の情報を集めている。NPO法人つえ絆くらぶをベースとした団体も考えられるが、それぞれの地域に沿うよう、振興局単位で今後定期的に会合の場を持つなど、皆さんと相談しながら作っていききたい。

**質問** 周辺地域でのバス停留所から遠距離にある集落の交通手段について伺う。

**部長** 最寄りのバス停から1・5km以上離れている集落で、利用登録者が5人以上あれば自治会を通

じて乗合タクシーの運行を要望できる。

### 総合戦略の実効性、観光誘致



飯田 茂 男

**質問** 総合戦略の推進に向けた財源の確保及び新年度一般会計予算への影響額を伺う。

**部長** 国予算の平成28年度概算要求で事業費1兆円が計上されている他、新型交付金や定住自立圏共生ビジョンに係る特別交付税措置が見込まれる。年末に示される予定の地方財政計画の案の財源情報の収集を図る。新年度予算の地方創生に係る事業費の規模や財源構成は、算定作業中であり具体的な金額を示すに至っていない。予算編成に当たり事業効果や経費の精査を十分に行うが、基金等の積極的な活用も含めて対応を図りたい。

**質問** 市民には、総合戦略の実効性を危惧する意見がある。施策の具体的な事業がメリハリなく列挙されているが、こうした市民の意見についてどのように考えるか。  
**市長** 要求、要望が非常に幅広く、



## 市議会だより



観光誘致に向けた受け入れ態勢の整備は

どの案件も具体的に何かを進めていかなければならない課題だと認識している。ただ、その課題解決には当然、市民の社会参加が必要で、重要なのは市民の理解だ。

**質問** 観光誘致について、日田市の魅力度は低く、全国で競い合うレベルの域にない。国内誘客とインバウンドの誘客の戦略について伺う。

**部長** 特に首都圏での日田市の認知度は低い。既存誘客事業の継続や、多言語化対応のホームページや動画サイトにより国内外に向けて情報発信を行い、誘客につなげたい。外国人に分り易い看板設置やWiFi環境の整備、通訳ガイドの育成、おもてなしトイレの整備など受け入れ態勢の充実に取り組む。



坂本 茂

### 観光の振興について

**質問** 多くの観光資源を生かした今後の戦略的な取組について伺う。

**部長** 奥日田観光や産業観光の推進を計画している。奥日田観光については、平成28年度に地域内の中核的な観光施設やまちづくり活動団体で構成する推進母体の立ち上げを行う。また、林業・木材産業、再生可能エネルギー産業、水資源を生かした産業などを始点に観光振興を図っていく。

**質問** 季節や夜のスポットという観点からの設定を考えてはどうか。

**部長** 着地型、ましてや日田を知っていただく効果的な情報発信の資源になるので、今後は、おいでいただくものに結びつけたい。

**質問** 目玉商品という観点からも屋形船と宿泊をつなげていく取組を、特に強化するべきではないか。

**部長** 船頭や運営費の確保も含めて新たな取組が必要だと考えている。旅館組合では、船力フェスの協議に入り、市として再協議を進めたい。



安達 明成

### ふるさと交流を活かした地域振興、観光振興を！

**質問** 広域連携についての検証や効果は、どう捉えているのか。

**部長** 連携した営業活動やツアーの企画にも取り組んでいる。連携することで、多くのお客様に来ていただける取組になると考える。

**質問** 市長はどのように考えるか。

**市長** 様々な切り口で観光と交流人口を増やすことが大きなテーマだ。経済効果を生み出し、地域に残していくことが最終目標である。

**質問** 起業家教育についての今後の在り方と考えを伺う。

**教育長** キャリア教育の枠を少し広げて、研究をしていきながら取り入れていこうと認識している。

**質問** ふるさと納税の取組状況を伺う。

**部長** 返礼品の充実、広報等に取り組み、寄付数2388件、金額4086万円となっている。

**質問** 関東在住の日田・玖珠山水郷土会、関東月限会、関東陽柳会からの提言「ふるさと市民制度並

びにふるさとマーケット創設」について、どう対応していくのか。

**部長** ふるさと市民制度は、総合戦略(案)に盛り込んでいる。

**質問** 地域のコミュニティ拠点となる天瀬町小学校跡地利用について取組状況を伺う。

**部長** 新年度より、協議を終えた地区から、計画的に取り組む。

**質問** 拠点づくりにはノウハウを持つ行政の支援が必要ではないか。

**部長** 新たな公共の構築のため、地域おこし協力隊の配置などにより、組織づくり等を支援する。

**質問** 木に親しんでもらうため、赤ちゃんと日田材を利用したおもちゃを贈る事業に取り組めないか。

**部長** 「ウッドスタート事業」も含め、木育に関する市民アンケートを実施し、検討していく。

**質問** インバウンド対策と、経済効果を生むための長期的な仕組みづくりが必要ではないか。

**部長** 外国人観光客に対する情報発信、サインの整備、WiFi環境の整備等も含めた長期展望に立った観光、経済環境の仕組みづくりを検討していく。

**質問** インバウンド、JR九州をはじめとするビッグチャンスを生





かす取組への姿勢を伺う。  
市長 短期、中期も含め、常にア  
ンテナを立てながら取り組む。



高倉 和一郎

### 地方創生の人材活用・ 育成・誘致

質問 地方創生の実現に向けた人  
材活用・育成・誘致について、市  
長の考えを伺う。

市長 人口減少社会を克服し、持  
続可能で活力のある地域社会を創  
り出して行くためには、行政・市  
民・民間企業や団体、それぞれの  
力を磨き、結集し、自らの意思と  
力で地域の社会経済活動を行って  
いくということが重要だと考えて  
いる。そのためには、職員の意識  
改革と課題解決に向けた政策形成  
能力の向上を図っていきたい。ま  
た、産業を支える人材や産業を生  
み出す人材の確保と育成、地域づ  
くりのリーダー人材の育成に取り  
組むこととしている。地域の人々  
に気づきや刺激を与え、新たな発  
想や活動の原動力として期待でき  
る外部人材誘致も有効だと考えて  
いる。今後とも、地域内外の人材

の積極的な確保・育成・活用に努  
めていきたいと考えている。

質問 自治体経営感覚とパブリッ  
クマインドを高めた上での公民連  
携事業の推進が有効だと考える。

行政と民間企業・団体・金融機関  
との公民連携事業の人材育成や体  
制づくりに取り組む考えはないか。

市長 新たな公共というものを社  
会の仕組みの中に作っていかなく  
れば、今後自治体運営というもの  
は成り立たないと認識をしている。  
これから十年後、二十年後にどう  
いう社会が来るのかを想定した上  
で、どのような施策を講じていく  
のか議論の場を持ち、共に納得し  
ていくことは必要だと考えている。  
この件に関しては前向きに検討し  
たい。



梅原 竜也

### 文化系の大会への激励金 について

質問 今回、日隈小学校の金管バ  
ンドが27年ぶりに全国大会に出場  
することとなり、かなり負担がか  
かると思う。そこで文化系に対す  
る激励金の今後の取組について伺

う。

部長 文化系の大会に対しては、  
激励金の制度は設けられておらず、  
現在、激励金の交付を検討してい  
る。スポーツ激励金等に準じた形  
で文化団体等に対し来年度以降何  
らかの助成制度を整備したいと、  
内部検討を行っている。なお、文  
化系の大会は、複数の金賞や優秀  
賞があるなど順位付けが難しい大  
会もあり、順位に応じて交付する  
賞賜金については、スポーツ賞賜  
金を参考にしながら交付額等につ  
いて検討したい。

質問 スポーツ激励金も見直して  
いただきたいがどうか。

教育次長 スポーツ激励金は、現  
在一人当たり1万5千円と定めて  
おり、年間で個人5万円、団体で  
50万円を超えない範囲内という基  
準を定めている。この激励金につ  
いては、平成16年に制度ができこ  
れまで数回、内容の改定を行って  
いる。ある程度、その年代ごとに  
事情等も変わるので、今後、実情  
に合わせて額についても見直しを  
図っていききたいと考えている。

質問 来年度以降、早急に制度が  
確立し、保護者の負担軽減と期待  
に応える努力をしていただきたい。

この他、放課後児童クラブ及び  
教職員の不祥事について、ラグビ  
ーワールドカップ及び東京オリ  
ンピックのキャンペーン地誘致活動につ  
いて質問した。



森山 保人

### 水道の水質、交通空白地 について

質問 日田市の水道事業経営の今  
後の方向性を伺う。

課長 水需要は近年給水人口の減  
少や節水などで減少しており、将  
来的にも減少するものと思われる。  
水道料金は、現在の料金水準をで  
きるだけ長く維持したい。漏水防  
止対策は、新しい調査方法も取り  
入れて有収率の向上を図る。

質問 水道水は河川から取水して  
おり、水源の汚染などへの対応は。  
課長 水道水源の水質は、新竹田  
浄水場は伏流水や地下水を凝集剤





による直接ろ過法で処理した後、クリプトスポリジウム（人や動物の下痢の原因となる原虫）対策の紫外線処理を行っている。上野浄水場は、三隈川の表流水を凝集沈殿急速ろ過法で浄水処理しており、水道法に定められた水質検査の基準を満たしていることから、水道の原水としては全く問題はない。

**質問** 河川の水質検査では、大腸菌群数が下流になるに従って増えている傾向がある。上野系の原水の水質検査は年に2回しか行っていないが、毎月行うべきではないか。

**課長** 急速ろ過装置でクリプトスポリジウム対策済みなので、検査は年に1回でよいとなっている。

**質問** 地域公共交通で、交通空白地ゼロを目標に掲げているが、空白地解消で必要なのは、家からバス停までの交通手段などで、地域のNPOなどで行う有償運送が一つの解決策というが進んでいない。



**市長** これまでの取組だけでは問題は解消できない。周辺地域については、定住自立圏構想を中心に整備を行いながら今後進めていく。



日隈 知重

### 株式会社おおよま夢工房の民営化と経営責任

**質問** 市が所有する株式会社おおよま夢工房（以下、おおよま夢工房）の全株式をJR九州に売却し、民営化することで、市の損失はないか。

**市長** 旧大山町が、総額で1億3000万円を出資。今回、3700万円で売却し9300万円ほど差が生じた。また、施設を譲渡した後は、1000万円を超える固定資産税が新たに課税される。納付された固定資産税相当額を、累積損失解消まで最長10年間支援する。施設は無償譲渡し、法律に基づく補助金の返還を不要にしたい。JR九州への譲渡で、観光や経済に好影響を与え、地域振興のための積極的な意味をもつ費用と考える。

**質問** 持ち株比率が3分の1を超

えると、合併や事業譲渡などの特別議決を、市は単独で阻止することができ。固定資産税相当額を支援する10年間、必要最小限の持ち株比率を維持することは考えなかったのか。

**市長** 株の譲渡は、JR九州から「一括で全て預かりたい」との話の中で進んできた。

**質問** おおよま夢工房は、4期連続の赤字で売却するが、経営責任は誰も取らないのか。

**市長** 会社が現在のような状況に至ったことは、一般的な意味において経営者の責任であるが、会社法の取締役の義務に照らせば、法的な責任はないと考える。

**質問** この他、介護予防・日常生活支援総合事業、平和安全保障関連法の危険と自衛官募集に伴う住民基本台帳の閲覧についても、市長、部長に答弁を求めた。



高瀬 剛

### 日田市版総合戦略による活性化

**質問** 日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進について伺う。



**部長** 人口減少に歯止めをかけ、回復に向けた「緩和策」と人口が減少する過程の中でも市民の生活水準を維持、向上させるための「適応策」双方が両立した取組が重要と考える。さらには安全・安心で快適に暮らせる戦略などを掲げている。

**質問** 高齢者雇用と定年後の再雇用について伺いたい。

**部長** 平成25年4月に高齢者など雇用の安定等に関する法律が改正され、65歳までの安定した雇用を確保するための全ての事業主に対し、高齢者雇用確保措置として定年制の廃止、もしくは定年の引上げ、または継続雇用制度導入のいずれかの措置を講ずるよう義務付けが行われている。

**質問** 第三セクター「株式会社おおよま夢工房」の民営化については自力による再生はできないか伺う。

**部長** これまで経営改善について取締役会で検討して、地元出身の



著名人を招いてのイベント開催や

商品開発、販路拡大など新規事業

に取り組んできた。結果として抜

本的な改善につながらず、自力に

よる経営の再生は難しいと判断、

経営改善の道を民営化に求め、今

回、JR九州の経営参画を取締役

会において全会一致で承認した。

**質問** この他、夜明交流センター

の「幼老共生の場」の今後の活用

の方向性と、入居予定の認定こど

も園に対する県の指導監査と市の

監査報告について市長、部長に答

弁を求めた。



大谷 敏彰

### 小規模企業の振興策、 マイナンバーについて

**質問** 小規模企業基本法に基づく

振興計画の策定と取組について、

どう具体化しているのか伺う。

**部長** 小規模企業は、市内企業の

8割を占め、地域経済や雇用にと

って重要な存在。策定中の中小企

業振興条例の中に位置づけ、振興

策の検討、推進の組織を立ち上げ、

実態調査や関係者と意見交換会を

開く予定である。誰もが気軽に相

談、指導をワンストップで受ける

ことができるように、中小企業支

援センターを設置する。

**質問** 市の条例案には小規模企業

の位置づけが弱い。市内の8割が

小規模だから、「中小企業・小規模

企業振興条例」とし、責務では

「継続的な発展に資する支援をす

る」、また、小規模事業者の役割

などの条文を入れたらどうか。

**部長** 条例についてはパブリック

コメントを行い、再度検討委員会

で協議していきたい。

**質問** 中小企業振興センターには

何人配置するのか。伴走型で支援

するのか伺う。

**部長** 経営や創業で適切な助言が

できる中小企業診断士を3人配置

し、伴走式のフォローアップを考

える。

**質問** 個人番号を記入しないでも、

税金の申告や社会保障の申請書類

の受付はできるのか。

**部長** 申請書等で個人番号を記載

せずに提出しても、申請書を受け

付けないということはない。

**質問** ICチップ付きの番号カー

ドの申請は希望者だけか。

**部長** あくまでも希望者であるが、

市としては普及に努める。



石橋 邦彦

### 日田市の第三セクターに ついて

**質問** 日田市にある第三セクター

について、今後の日田市総合戦略

定住自立圏共生ビジョンを考えた

とき、その存在意義をどう考える

か。また、株式会社おおよま夢工

房（以下、おおよま夢工房）の12

年間の役割をどう捉えているか伺

う。

**市長** 本市の第三セクターは、主

に過疎地域での定住促進や地域産

業の育成、雇用の場の確保などを

目的として設立され、地域活性化

の拠点として重要な役割を担って

きたと認識している。おおよま夢

工房の果たした役割は、地元産品

である梅関連商品の開発製造によ

る産業の創出、農産物の販路拡大、

施設集客による交流人口の増加、

雇用の場の創出、国内外視察の受

入れ、地域イベントの協力等々、

大山の地域づくりの拠点として重

要な役割を果たしてきたと考えて

いる。

**質問** JR九州のグループ会社と

なるおおよま夢工房と市の関係を

どう考えていくのか伺う。

**市長** おおよま夢工房に経営参画

するJR九州の販路や情報発信力、

観光客の送迎など最大限に活用し、

農業分野においても連携を働きか

けながら、市内の民間企業等へも

効果が波及するよう、日田市全域

の観光振興を図っていきたい。

**質問** 日田市公文書の書庫及びそ

の管理保存についてどう考えてい

るか伺う。

**市長** 公文書の管理に関しては、

以前より懸念しているところであ

る。どう保存するか検討を進めな

くてはと考えている。書庫につい

ては、公共施設の跡地利用も含め、

今後の施設白書等と併せて早急に

対応したい。

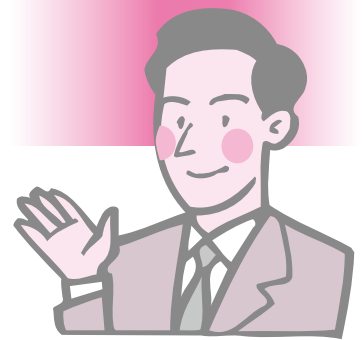


日田市全域の情報発信地となれるか



## 報 告

# 各委員会の 議案等の審査結果



### ●総務環境委員会●

日田市定住自立圏形成方針の策定や平成27年度日田市一般会計補正予算などを可決

日田市定住自立圏形成方針の策定については、旧日田市の区域を中心地域、旧日田郡の区域を近隣地域として形成する日田市定住自立圏に関し方針を策定するもので地方創生総合戦略との整合性を保ちながら実効性のあるものになるよう付言し、原案のとおり可決した。

日田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正については、法定事務以外において個人番号を独自に利用する事務や

市長部局内の庁内連携、市の機関の間において特定個人情報を提供する機関連携に対し、その根拠を規定するものであり、原案のとおり可決した。

日田市多目的交流館の指定管理者の指定については、平成28年4月1日から5年間6つの交流館の指定管理者を選定するものである。

交流館の活用については、地域振興に寄与するとともに地元との協議の上、収益の上がる事業については取り入れるなど、努力するよう要望し、原案のとおり可決した。

平成27年度日田市一般会計補正予算は、歳入歳出にそれぞれ3億1430万2千円を追加し、補正後の予算総額を381億9217万8千円とするもので、主な歳出補正は、マイナンバー制度の施行

を控え、オープンスペースである1階フロア窓口のセキュリティ強化を図るための費用等であり、原案のとおり可決した。

この他、日田市一般職員の給与に関する条例等の一部改正や、日田市特別職員退職手当支給条例の一部改正などについて、原案のとおり可決した。

また、市の公文書管理の構築に関する請願について採択した。

### ●教育福祉委員会●

国民健康保険税条例の一部改正や平成27年度日田市一般会計補正予算などを可決

日田市国民健康保険税条例及び日田市介護保険条例の一部改正については、減免申請書等の記載事項に個人番号を追加するもので、

審査の中では「個人番号の記載は必要とは言えず、申請者にとって煩雑である」、「事務処理上の書類のやりとりにおいて、情報漏えいが懸念される」などの反対意見が出されたが、多数をもって可決した。

認定こども園3施設のうち1施設の指定管理者に社会福祉法人地の塩会、また、小規模保育園2施設、老人福祉施設1施設、高齢者生活福祉センター3施設の指定管理者を日田市社会福祉協議会に、日田市公民館事業に使用している5施設の指定管理者を日田市公民館運営事業団に、それぞれ平成28年4月1日から平成33年3月31日までの5年間で指定するため、議会の議決を求めるものであり、原案のとおり可決した。なお、上津江高齢者生活福祉センターについては、地域の高齢者福祉の課題に対応するため、小規模多機能型介護施設への移行を検討すべきとの意見があった。

平成27年度日田市一般会計補正予算のうち、要保護児童等支援事業予算は、新入学に係る学用品費について、認定者数が当初見込みを上回ったこと、入学後の7月に支給していたものを入学前





の2月下旬から支給を始めることにより補正を行うものであり、原案のとおり可決した。

この他、日田市複合文化施設建築主体工事の変更契約の締結、損害賠償の額の決定、日田市後期高齢者医療特別会計補正予算、日田市介護保険特別会計補正予算について、原案のとおり可決した。

### ●産業建設委員会●

財産の譲渡議案や平成27年度日田市一般会計補正予算などを可決

日田市の第三セクター「株式会社おおよま夢工房」(以下、夢工房)は、平成26年度決算で累積赤字が約4800万円となっており、今回JR九州、日田市、夢工房の三者による民営化に関する協議が整い、議案提案がなされた。条件として、日田市保有の2600株、額面総額1億3000万円を3700万円でJR九州に譲渡する。施設は、夢工房に無償譲渡する。土地は、市が所有し貸付を行う。完全民営化支援のため、最長10年間の固定資産税相当額1億8450万円を限度額として事業支援することなどである。

審査の中では「夢工房は、これまでに地域活性化や民営化に向けた道筋を立てたことについては評価できるが、累積赤字を抱えてきた」、「市は総株式の7割を所有しており、もう少し早く経営問題について手を打つべきであった」、「今回の株の売却価格では市民の納得が得られない」、「JR九州が経営参画することで、日田市全域の観光振興、地域振興に多大な効果が期待できる」など種々議論があり、多数をもって原案のとおり可決した。

平成27年度日田市一般会計補正予算は、以下の要望、意見を付し、多数をもって原案のとおり可決した。

果樹産地改革総合推進事業では、「梨流線型仕立等早期成園化に必要な大苗育苗施設等の整備を行うもので、全国でも日田市が先進的な取組をしており、積極的に事業推進を図るべき」との意見や、新規就農者・後継者対策として、将来にわたって支援ができる体制づくりについて、早期に検討するよう要望した。また、財産の譲渡議案に関連し、「日田市第三セクター完全民営化支援事業交付金について反対する」との意見があった。

## 常任委員会の行政視察報告

### ●総務環境委員会●

◆期日 平成27年8月5日(水)  
～8月7日(金)

#### ◆視察地及び項目

- ①豊岡市(兵庫県)
- ・豊岡エコバレーについて
- ②京丹後市(京都府)
- ・まち・ひと・しごと総合戦略及びアクションプランについて
- ③福知山市(京都府)
- ・公共施設マネジメントについて

#### ◆視察内容

豊岡市では、「環境」をキーワードとした経済政策で地域を創りあげる「豊岡エコバレー」の実現を目指している。具体的には、以前当地に多く生息していたコウノトリが、野生復帰するような環境を取り戻すための取組を市を挙げて推進することで、利益を追求し、環境が改善される「環境経済事業」に取り組んでおり、環境関連企業の誘致やペレットストーブ及びボイラーの導入などについて説明を受けるとともに、コウノトリ文化館を視察した。

次に京丹後市は、平成27年3月に全国で最初の「まち・ひと・しごと総合戦略」を策定した自治体であり、同市の人口は過去5年間で約6%減少しているにもかかわらず、若い世代の人口流入と出生率の向上による定住促進で、45年後の人口ビジョンを20%増と見込んでいる。その積極的な考え方と基本方針、また、具体的施策として、伝統産業である絹製品の再生、未使用公共施設等を利用したテレワークによるサテライトオフィス誘致、全国8つの大学が参加する「京丹後市夢まち創り大学」について説明を受けた。

最後に福知山市は、公共施設マネジメントに取り組み、将来世代に過大な負担を背負わすことのないよう、市民や利用者の合意形成を図りながら、稼働率や老朽の度合い、近隣の重複施設の有無、民間移譲の可能性などを分析し、「更新」「統合」「移譲」「廃止」に区分し、30年間かけて延べ床面積で約4割を削減する方針である。これには、行政だけではなく、市民や市議会



も役割分担を持ち、みんなで将来に向けて責任のある議論を行う必要性が示されており、それらのことについて、策定までの経緯や考え方について説明を受けた。

## 教育福祉委員会

◆期日 平成27年8月4日(火)  
～8月6日(木)

### ◆視察地及び項目

- ①岐阜市(岐阜県)
- ・岐阜市国民健康保険「データヘルス計画」について
- ②桑名市(三重県)
- ・介護保険制度改正に伴う新総合事業への移行について
- ③一宮市(愛知県)
- ・図書館業務の一部民間委託への経緯と費用対効果について

### ◆視察内容

岐阜市は、市内の国保加入者約12万人の医療費や検診結果などのデータを、国や県と比較して健康問題の課題を探る「データヘルス計画」を策定し、市のホームページで紹介している。

計画策定の目的は、被保険者の健康度を高め、健康寿命の延伸や医療費の抑制である。特徴は、国保データベースの活用により、全

国規模での評価が可能で、標準的な数値目標が設定でき、評価がしやすいことで、特定健診を受けていない人の年間医療費は、受診した人より約11万円高い状況であった。

次に桑名市は、介護保険制度改正に伴う新総合事業について平成29年4月まで2年間の移行期間が設けられているが、既に移行している。「短期集中型の予防サービスの提供」、「健康増進事業と介護予防事業の一体化」、「市独自の特別給付によるサービスの創設」など5つの主要な柱が中心である。それぞれが従来の介護サービスからの移行で、なるべく利用者の利便性を損なわない内容で、自分の力だけで暮らすことが可能な高齢者を一人でも増やし、介護が必要になっても安心して在宅で介護を受けられる地域を目指している。

最後に一宮市は、駅前再開発に合わせて建設された尾張一宮駅ビル内に、図書の自動貸出機や、インターネット環境も充実した一宮市立中央図書館を開館した。駅ビル全体での管理運営は赤字であるが、委託業者との業務分担がうまく機能し、利用者にとっての最大

のメリットは、開館時間の延長で、同時に中心市街地のにぎわいの創出にも寄与している。

## 産業建設委員会

◆期日 平成27年8月5日(水)  
～8月7日(金)

### ◆視察地及び項目

- ①三木市(兵庫県)
- ・中小企業サポートセンターについて
- ②姫路市(兵庫県)
- ・中心市街地活性化基本計画について
- ③たつの市(兵庫県)
- ・農業6次産業化支援事業について

### ◆視察内容

三木市では、中小企業が地域経済において重要な役割を果たしていることから、中小企業の健全な発展を図ることにより、市内産業の活性化、雇用機会の創出に寄与することを目的に、現場第一主義のプラットフォームとして中小企業を総合的に支援する「三木市中小企業サポートセンター」を設置し、中小企業の創業、経営革新、経営基盤の強化などの支援を中小企業診断士が中心となって取り組

んでいる。日田市においても、中小企業振興基本条例及び地方創生総合戦略の策定に合わせ、市議会から中小企業支援センターの設置を提言している。

次に、姫路市は、平成27年4月に中心市街地活性化基本計画「新計画」を策定している。これまでの「前計画」では、姫路駅周辺整備の交通結節性の向上や都市機能の集積、南北一体となった町づくりが進められた。今後は、大天守保存修理工事が完了した姫路城や姫路駅を中心に、官民一体となった商店街の活性化、街中のにぎわい創出など、さらなる発展が期待されている。

最後に、たつの市では、農商工連携の取組を中心に視察を行った。ヒガシマル醤油(株)では、行政や農協をはじめとする地域の関連指導機関等10団体と地域で強い繋がりをもち、種々のプロジェクトを展開している。特に、醤油や素麺の原料として欠かせない大豆や小麦は、地場産のものを積極的に使用しており、その結果、生産者には意欲と希望が生まれ、地域の活性化、品質向上や所得拡大を実現している。



## 議会報告・意見交換会を開催しました

日田市議会では昨年10月5日から20日にかけて、市内20会場で議会報告・意見交換会を開催し、特に今回は、地方創生に関する総合戦略について重点を置き、多くの意見や提言が寄せられました。

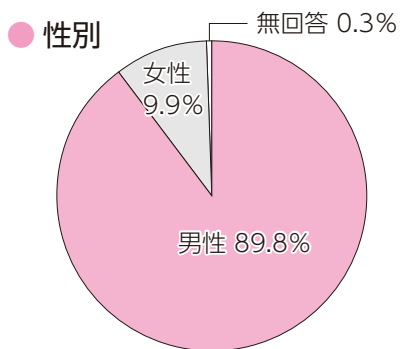
また、各会場でいただきました執行部に対する意見要望等は、各常任委員会では協議し、担当部長に伝えました。

議会報告・意見交換会では参加者にアンケートをお願いしました。結果は以下のとおりです。

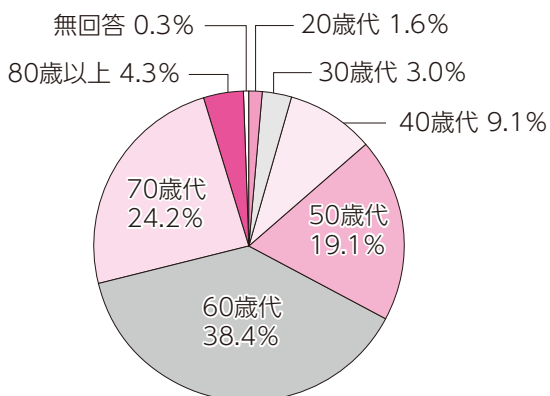
## アンケート集計結果 (報告会参加人数 420人 アンケート回収数 372件 回収率 88.6%)

### 問1 あなたの性別、年齢をお答えください。

#### ● 性別



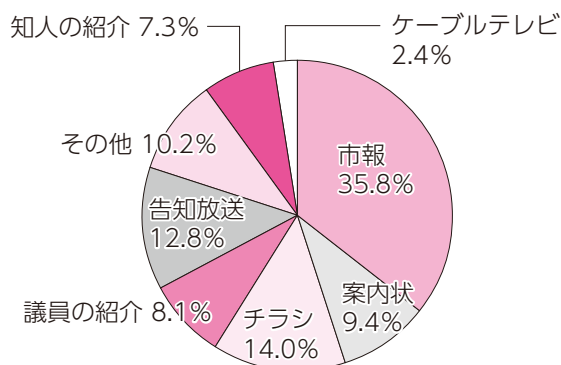
#### ● 年齢



今年度より会場ごとの主な意見等をまとめた報告書と、アンケートの中での市議会に対する意見や要望等をまとめたアンケート集計結果の冊子を、各会場（20地区の公民館）と市役所1階の行政情報コーナーに配布しました。また、ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



### 問2 本日の議会報告会をどのようにしてお知りになりましたか。（複数可）



### 本会議のテレビ中継

一般質問は、水郷TV（市情報センター）及びKCVコミュニケーションズで生中継し、後日、録画放映も行っていますので、是非ご視聴ください。なお、閉会日についても後日録画放送を行っています。

### ホームページのご案内

<http://www.city.hita.oita.jp>

日田市議会では、ホームページを開設しています。このホームページでは、市議会の結果などを掲載するほか、過去の会議録も検索できます。

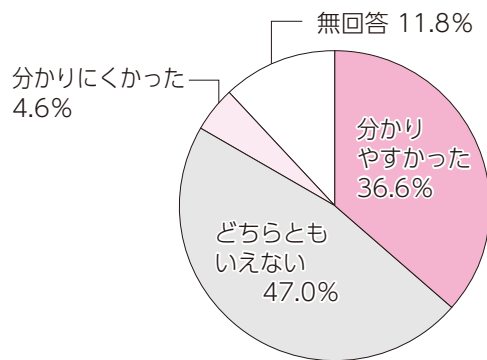
また、市立淡窓図書館、各振興センター、振興局、地区公民館には、会議録を備えています。12月定例会の会議録は、3月上旬から閲覧することができます。



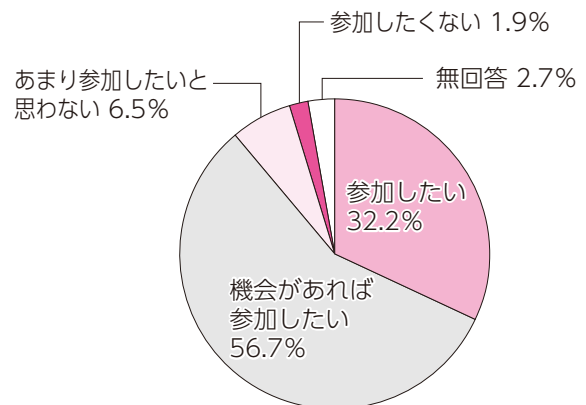


## ひた市議会だより

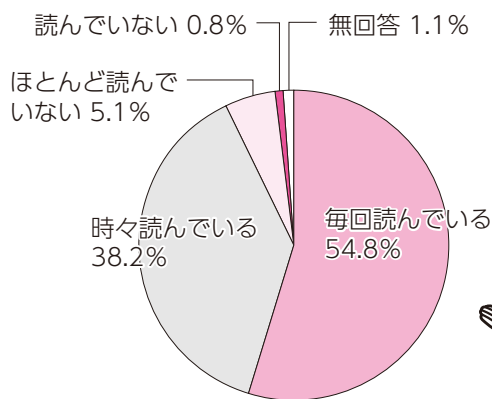
### 問3 本日の報告会の説明はいかがでしたか。



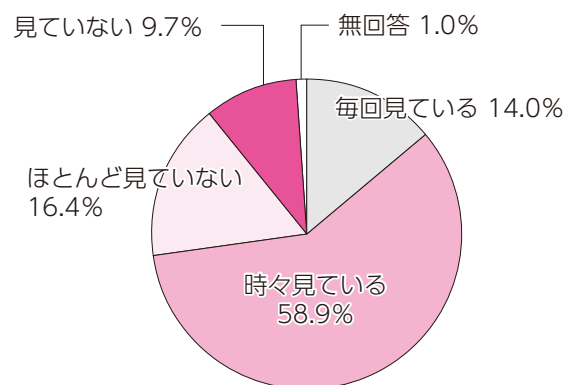
### 問4 今後もこのような報告会に参加したいと思いますか。



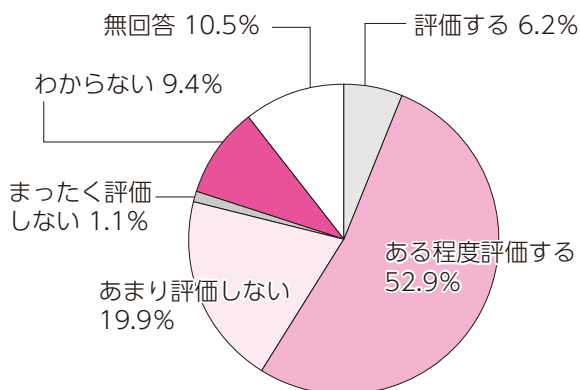
### 問5 議会で発行している「ひた市議会だより」はご覧になりますか。



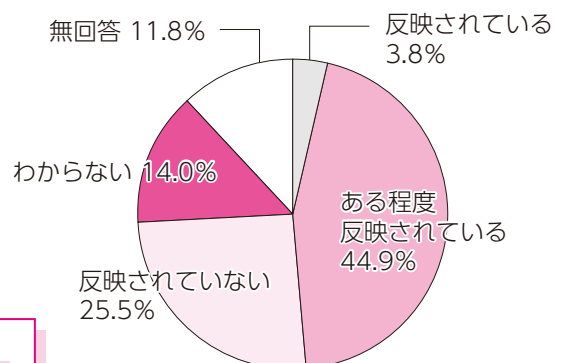
### 問6 ケーブルテレビで放送している市議会一般質問の放送はご覧になりますか。



### 問7 現在の市議会をどう思いますか。



### 問8 市議会に市民の声が反映されていると思いますか。



## 議会をご覧になりませんか

市議会は、公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。車いす（3台分）での傍聴もできます。

皆様のお越しをお待ちしています。





## 市創生総合戦略に対する 提言書を提出

市議会では、市民、民間団体との意見交換や市が行った意識調査及び市民や各分野から聴取した意見・提案を踏まえ、「議会報告・意見交換会」を実施しました。そこで出された多くの意見・提案等を基に、各常任委員会が協議を重ね、昨年11月13日市長へ提言書を提出

しました。提言書は①地場産業の育成・支援策を強化し、安定した雇用の場の創出と拡大②若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる③人を呼び込む地域力の醸成と清流復活の3つの柱で構成され、それぞれの「現状と課題」に対する「具体的施策」を示したものであり、年度内に策定される日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に反映するように提言しました。

## 公職選挙法(寄附行為)に関する Q&A

### 虚礼廃止にご理解ご協力を!

**Q** 議員が、親族以外の選挙区内の市民へ、寒中見舞い等、時候の挨拶状を出すことはできますか。

**A** 答礼のための自筆によるものを除き、禁止されています。自筆とは、議員本人の肉筆であって、パソコン等による裏面印刷のものは、自筆とは認められません。

**Q** 議員の配偶者等の親族が、葬式に代理出席し、議員の香典を届けることはできますか。

**A** 議員本人が出席する場合は禁止されていませんが、代理出席の場合は、罰則をもって禁止されています。

この他、議員が、団体の総会や地区の祭などで、寸志・ご祝儀やお酒を出すことや親族以外へ贈るお歳暮・病氣見舞い・入学祝いなど、従来から慣行として行われていることであっても、寄附に当たりますので禁止されています。

また、議員に対し、市民がこれらを求めることも違反となります。

## 第1回定例会議事日程

次回(3月)定例会の議事日程  
案が、次のとおりとなりました。  
なお、正式な日程は、2月19日  
(金)開催予定の議会運営委員会  
で決定します。

- ・ 2月24日(水) ……開 会
- ・ 3月3日(木) ……代表質問
- ・ 3月7日(月)、8日(火) ……一般質問
- ・ 3月10日(木) ……議案質疑



## 編集後記

今年は申年。戦後二度目の丙申となります。十二支の申は伸びるが語源で、体が軽快に伸び伸びと動く猿を重ねたとされています。

さて、昨年から進めています、日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略も、いよいよ4月から具体的な取組がスタートします。

私たちも常に、「市民のために何をするのか」という視点に立ち、使命と責任を果たしていくことが大事であると思っています。

市民の皆様方と伸び伸びと動く一年にしてまいりたい決意です。  
(坂本 茂)

- ・ 3月11日(金) ……各委員会(27年度分)
- ・ 3月14日(月) ……本会議(27年度分)
- ・ 3月15日(火)、16日(水) 17日(木)、18日(金) ……各委員会
- ・ 3月24日(木) ……閉 会